

在であり、シラバスを含めて資料も簡単に出てきやすいと思います。また、業務経験的にもちょうどではないでしょうか。これから挑戦する若い人たちは是非、その点を教訓にされてはいかがかと思います。

5. Reference

リファレンスは最初考えていた私の師匠(米国人)がすでに定年とともに PE 資格を放棄してしまっており、予定の人数に穴が開いてしまいましたが、API や ASME の会合の時にあった友人にコンタクトをとると皆さん OK してくれました。1 名は前述の英国人の方でイギリスの Chartered Engineer になってしましますが、なんとか最低限の 3 人の current という条件は満たせそうで形はそろうそうです。

ということで、現在来年の登録を目指して PE 試験頑張ります。

4. PE 登録体験記

4.1

会員番号: PE-0255 氏名: 一町 直樹

専門分野: Chemical Engineering

保有資格: PE(テキサス州) 化学

エネルギー管理士、危険物取扱者甲種

PE 登録日: 2016 年 8 月 9 日



テキサス州 PE 協会 Texas Board of Professional Engineers (TBPE)への登録完了までの登録作業に関して記します。テキサス州を選んだ理由は、半年間テキサスへ駐在していて、仕事の関係上深い州だからです。2016 年 8 月に登録時点の情報です。

なお、特記事項としまして、私自身が JABEE の資格を持っていたため、NCEES や第三者機関の Credential Evaluation は必要ありませんでした。

1. PE の登録までのプロセス

(1) FE& PE 試験の合格

(2) TBPE への登録申請書類の作成及び提出

- 登録申請書 (EB-04)
- Supplementary Experience Record(SER) 職務経歴書 (EB-13)
- Ethic Exam 受験結果
- Registered PE からの推薦書 (Reference)
- PE License Application Fee の Money Order (\$80)
- 上司のサイン入り「英語能力証明レター」
- 卒業した大学から TBPE へ送付してもらう書類

- 英文学位証明書
- 成績証明書
- JABEE 認定の証明書 (注 Credential Evaluation の代わり)
- (3) 犯罪経歴記録確認書の提出 (IdentoGO)
- (4) TBPE による登録申請書類の Review
- (5) TBPE からの PE 登録完了の連絡受領
- (6) PE Seal 作成
- (7) TBPE への PE seal の印影及び写真の登録

2. 各登録プロセス毎のメモ

(1) FE&PE の試験合格

aa) FE 試験

FE 試験は、参考書として、FE Review Manual の解説を読み、FE Review Manual に載っている問題を解きました。そして、問題数が足りないと思いましたので、“1001”の問題集を解くことで、問題量を確保いたしました。午後の部は、“Other Discipline”を選択しました。選択した理由は、午前中の General の問題と出題範囲が同じため、午前と午後の勉強を分けてする必要がないと考えたためです。当時は、午後の部の問題数が少ない分、少し難しい問題が出題されていました。

- 参考書： FE Review Manual: Rapid Preparation for the Fundamentals of Engineering Exam (FE Review Manual) (Michael R. Lindeburg)
- 問題集: 1001 Solved Engineering Fundamentals Problems (Michael R. Lindeburg)

bb) PE 試験

2014 年の春に PE は、1 回目の試験は、残念ながら、落ちてしまい、捲土重来と期して、2014 年の秋に 2 回目の PE 試験で、無事合格することが出来ました。

まず、受験するにあたって、下記の参考書等で勉強しました。

- 参考書: Chemical Engineering Reference Manual for the PE Exam (Michael R. Lindeburg)
- 問題集: Practice Problems for the Chemical Engineering PE Exam (Michael R. Lindeburg)
- PE Chemical Practice Exam (NCEES)

1 回目の試験時は、受験対策で、上記の参考書・問題集の中には、SI 単位系と、ポンドヤード単位系の 2 つの問題が記載されていたため、自分が普段使っている、SI 単位系で問題を解いていました。本番の試験では、SI 単位系の問題は、一切出題されず、全てポンドヤード単位系の出題でした。現在はどうなっているか定かではございませんが、4 年前に受験した FE 試験の時は、どちらの単位系も記載されていたので、PE 試験も、SI 単位系で勉強していれば十分だと考えていました。1 回目の試験中に、単位換算に気を取られてしまい、

試験問題に対して十分に考えること出来なかったため、不合格になってしまったのだと考えました。そこで、2 回目の受験勉強の時には、ポンドヤード単位系で解けるように、問題集を 1 から解き直し 2 回目の受験に望みました。受験対策の甲斐もありまして、2 回目で、なんとか無事に合格することが出来ました。

今後の Chemical を受験する受験生に対してのアドバイスとして、問題集・参考書には、SI 単位系も記載されていますが、ポンドヤード系で解いて勉強することを強く推奨いたします。

(2) TBPE への登録申請書類の作成及び提出

TBPE の Homepage に Application information check list が用意されており、それに従い必要な書類を揃えました。<https://engineers.texas.gov/downloads.htm>

- 登録申請書 (EB-04)

私は、EB-04 の PDF を Download して作成いたしましたが、現在は、On-line 上で必要記入事項を記入して、その Format を打ち出すことが可能ようです。On-line 上で必要記入事項を入力した時に、犯罪経歴記録確認書の提出 (IdentoGO)のための ID が入手出来るため、On-line 上で必要記入事項を入力して、Print out した方が良いかもしれません。

- Supplementary Experience Record(SER) 職務経歴書 (EB-13)

自分の携わった Job を 3 つに分けて記載いたしました。それぞれ、PE の方にサインを頂きました。PE の方が直属の上司でない時は、SER で記載しました業務内容を説明して、サインを頂きました。

- Ethic Exam 受験結果

25 問の問題で、23 問以上(90%以上)が合格になります。私は、On-line で問題を解いて、合格が表示されるページを印刷して、送付いたしました。

- Registered PE からの推薦書 (Reference)

Texas の PE 登録には、Reference が 3 通必要になります。

半年間アメリカに駐在時に知り合いました 2 人の方に PE の Reference をお願い致しまして、もう 1 通は、社内の方から頂きました。

- PE License Application Fee の Money Order (\$80)

郵便局で、アメリカへの送金のために「住所宛て送金」というシステムを使って、払込を行いました。現在は、マイナンバーカードを郵便局に持参しなければ、Money Order を作成できなくなっています。郵便局の Home page を確認してみてください。

- 「英語能力証明レター」

TOEFL の試験結果もしくは、英語能力証明レターを要求されています。そこで、社内の方と協力して、英語能力証明レターを作成いたしました。

- 卒業した大学から TBPE へ送付してもらう書類

大学から、以下の 2 つの書類を直接 TBPE へ送付してもらいました。

- ◇ 英文学位証明書 (学部/修士)
- ◇ 成績証明書 (学部/修士)

- JABEE 認定の証明書 (注 Credential Evaluation)

私は、JABEE の資格を持っているため、TBPE に第三者機関による Credential Evaluation の必要性を確認したところ、必要ないと回答がありました。また、TBPE からは、JABEE の認定の証明書のコピーの添付の必要はないとメールで確認しましたが、大学卒業時に大学から受け取りました JABEE 認定の証明書を念のため添付しました。

(*)日本 PE・FE 試験協議会(JPEC)とケンタッキー州、ノースカロライナ州、テキサス州、ミズーリ州の4州の間で、日本の PE 資格登録申請者に対する要求を緩和するという合意事項があります。
(http://www.jpec2002.org/successful_procedure/entry-57.html)

(3) 犯罪経歴記録確認書の提出 (IdentoGO)

日本からは、IdentoGO by Morpho Trust USA と呼ばれる機関に、FD-258 を送付して、犯罪を起こしていないことを審査してもらい、Idento GO から直接、TBPE に連絡をして貰う必要があります。

TBPE から個人に割り当てられる FastPass の番号を発行してもらい(登録申請書 EB-04 を On-line 上で作成しましたらその時に割り当てられます)、そして、IdentoGO のサイトにログインをして、Credit Card で、39.75 ドル支払い、FD-258 を EMS で、送付しました。

私は、東京在住のため、電話で、警視庁の霞が関の本庁に指紋の採取の日程を約束して、採取してもらいました。FD-258 には、指紋採取した人の欄があり、サインを求められていますが、日本の警察では、その欄にサインは出来ないようです。そこで、日本ではサインが出来ないという一筆を加えまして、IdentoGO に送付しました。

(4) TBPE による登録申請書類の Review

申請書を受領しましたと共に Review 担当者の連絡がありました。2ヶ月ぐらい音沙汰な無かったため、確認してみたところ、NCEES からの FE/PE の試験結果の提出が行われていないと返答がありました。

3月の申請の段階で、NCEES に、確認をしていました所、“FE/PE の試験結果は、TBPE の Board が直接アクセスできるため、NCEES から転送する必要はありません”と連絡を受けていましたので、TBPE にその旨を申請書の提出時に確認をしていました。しかしながら、登録申請が進んだ6月に、TBPE から、FE/PE の試験結果が提出されていませんと連絡を受けてしまいました。そこで、6月に NCEES の My page に Log in したところ、NCEES の My page が Renewal してしまっていて、その中に、NCEES から FE/PE の試験結果を各州の Board に送付する Page が新規に作成されており、それを使用しまして、FE/PE の試験結果を TBPE に送付いたしました。

(5) TBPE からの PE 登録完了の連絡受領

申請書を提出して、4ヶ月後に TBPE から登録が完了しましたと連絡が来ました。

(6) PE Seal 作成

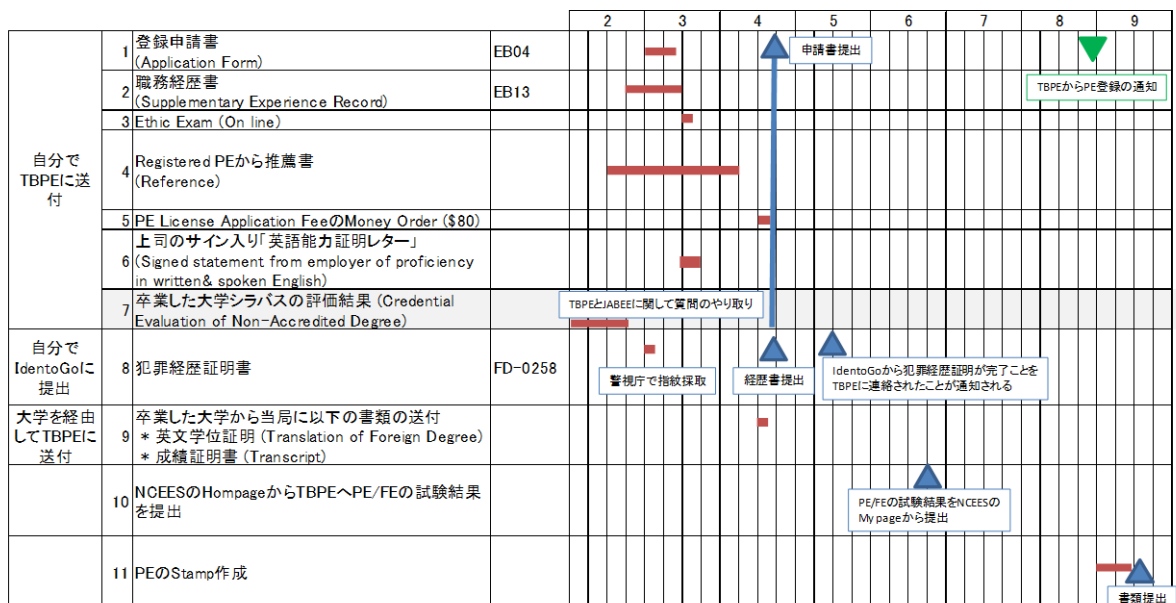
日本にも郵送してもらえる PE Seal/Stamp を作成している会社に、PE 番号と名前を連絡して発注を行いました。手元に届くまで約 2 週間弱かかりました。2 ヶ月以内に PE の Seal と証明写真を TBPE に返送しなければ、罰金が課されます。Stamp の発注は、PE の登録が済みしたら、速やかに発注する必要があります。

(7) TBPE への PE Seal の印影及び写真の登録

TBPE へ、PE Seal の印影と、写真を提出する用紙が TBPE から送付されてきますのでその用紙に PE の印影と写真を添付して返信しました。写真が特殊なサイズであったため、写真屋で撮影を行いました。そして、TBPE へ、EMS で送付を行いました。数日後 TBPE から受領を行ったと連絡が来て、一連の PE 登録が終わりました。

3. 申請書準備から申請までのスケジュール

申請準備から申請までのスケジュールは以下のようになります。



4. PE 登録を振り返って

PE の試験合格から登録まで 2 年近く経ってしまいました。アメリカに半年間の駐在期間(2015 年 9 月-2016 年 2 月)の間に、アメリカで一緒に働いた客先のなどの方々の仕事に対する態度に感銘を受けまして、PE の試験が通っているのだから、登録まで頑張ってみようと思ったのがきっかけでした。

アメリカでは、PE の License を持っていないければ、Engineer と名乗れません、次回アメリカで出張や駐在があった時は、堂々と Engineer と名乗って仕事を行えたらと思います。また、Texas の PE の更新期間は 1 年間と非常に短く CEP (Continuing Education Program) も年間 15 時間必要になります。継続的な学習時間を保ち PE という名に恥じない Engineer になりたいと思います。

最後になりますが、本体験記から、PE の取得のご参考になれば幸いです。